

“食肉の生産から食卓までを繋ぐ” 日本産肉研究会 第16回学術集会

日 時：2015年9月12日（土）13：00～17：00

場所：酪農学園大学C5 号館101（C5-101）

参加料：無料（非会員：要旨集500円）

12：30～13：00 受付

13：00～16：30 シンポジウム

「日本畜産への問題提起と赤身牛肉生産の可能性」

* 受付開始：12：30 開会：13：00

S1. 現状の生産・流通・消費を考える（13：10～14：40）

（座長：小笠原 英毅（北里大学獣医学部FSC八雲牧場）、松崎正敏（弘前大学））

1) TPP妥結前夜 北海道肉牛の残された手段 ～近況マーケット分析からシミュレーション～

花房俊一（NPO法人 環境リサイクル肉牛協議会）

2) 北海道における完全放牧による肉牛生産の実践

西川奈緒子（北海道様似町）

3) 北里八雲牛は地方活性化の起爆剤となり得るか

小笠原英毅（北里大学獣医学部FSC八雲牧場）

*ブレーク（14：40～14：50）

S2. 科学的視点で赤身牛肉の生産と機能性を考える（14：50～15：50）

（座長：寶示戸雅之（北里大学獣医学部FSC））

4) アニマルウエルフェアを活用する販売戦略

瀬尾哲也（帯広畜産大学）

5) 食肉，特に牛肉の機能性について（仮）

有原圭三（北里大学獣医学部）

S3. 総合討論（16：00～17：00）

（座長：後藤貴文（九州大学農学研究院））

18：00～ 意見交換会

※現地検討会は北広島市の宮北牧場（循環型畜産を实践するアングス一貫牧場）を予定

（13 日午前中、集合場所：JR札幌駅北口「鐘の広場」8時30分集合 ※先着25名 事前申込）